



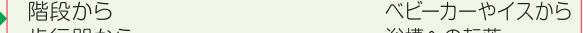












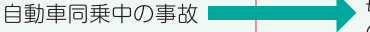

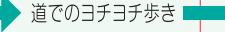

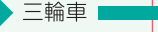








14. こどもの事故防止と安全

- ▶不慮の事故のほとんどは家庭で起こるとされています
- ▶保護者の注意で約60~80%以上は防ぐことができるといわれています

- ▶突然の事故に備えてある程度の応急処置を知っておくことも大事ですが、予防を心掛けることはもっと重要です
- ▶こどもの成長に合わせて起こりやすい事故の種類とその予防のコツを覚えておくことも重要です

	誕生	3ヶ月	6ヶ月	1歳	3歳	
子どもの発達	▶体を動かす ▶手足をばたつかせる 	▶あやすと笑うようになる ▶首がすわる ▶見たものに手を出す ▶口の中にものを入れる	▶寝返りをうつようになる ▶はう 	▶おすわりができるようになる ▶ものをつかむ ▶家具につかまりたちをする	▶歩き始める ▶スイッチ・ノブ・ダイヤルをいじる ▶走る・のぼる▶簡単な言葉を話し出す ▶階段を上り下りする 	▶高い所へのぼれる ▶言葉でのコミュニケーションができる ▶友達と遊ぶようになる
転落	親が落とす ベビーベッド・ソファから 	階段から 歩行器から 	ベビーカーやイスから 浴槽への転落 	階段 窓・バルコニーから 	すべり台・ブランコ 	
切り傷・打撲		床にある鋭いもの	鋭い角のあるおもちゃ	鋭い角の家具・建具 ・ハサミのいたずら	鋭いテーブルの角、ドアのガラス ドアに手を挟む、引き出しの角 屋外の石	
やけど	熱いミルク 熱いお風呂 ホットカーペット 	ポット・食卓 アイロン 	炊飯器・コンセント ストーブ・ヒーター 	マッチ・ライター 湯沸かし器・花火 		
誤飲・窒息	まくら、柔らかい布団 	タバコ 小物・ボタン 小さなおもちゃ 	よだれかけ ひも・コード 	ナッツ・豆類・キャンディ 	薬・化粧品 ビニール袋 	
交通事故	自動車同乗中の事故 	母親と自転車の二人乗り 	道でのヨチヨチ歩き 	歩行中の事故 	三輪車 	自転車 
溺水事故	入浴時 	浴槽への転落 洗面所・洗濯機 	プール・川・海 			

※子育てハンドブック「らっこ」からの引用